

市民中心の持続可能な炭素中立都市へのシフト

唐津（タンジン）市は2021年の一年間、再生可能エネルギー設備の拡大やエコカーの普及による内燃機関の漸進的な廃止、市民の気候危機克服への参加を促す気候危機時計の設置、地域イベントの炭素中立イベントへの移行、市民主導の気候危機克服対策づくりワークショップの開催など、地方自治体レベルで気候危機の克服に取り組み、韓国の環境部が評価する「2021年度炭素中立優秀事例地方自治体」に選定されました。



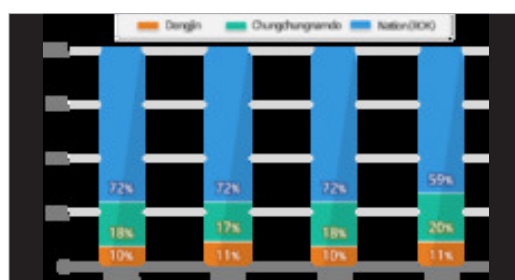
01

韓国で最も多くの温室効果ガスを排出する地域

大規模な石炭火力発電所や産業施設が密集している唐津市は、2017年基準で74百万トンの温室効果ガスを排出しており、これは同年度の全国排出量の約11%に当たります。気候危機の克服および国の炭素中立達成目標に貢献するためには、同市のような基礎自治体から炭素中立に向けた取り組みを進めることが最重要視されています。

唐津市および忠清南道、全国の温室効果ガス排出現況

| 区分 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| (単位) 地域 | | | | | |
| 千トン | | | | | |
| 唐津 | 60,553 | 63,362 | 69,357 | 67,200 | 73,914 |
| 忠南 | 178,222 | 181,133 | 182,743 | 181,655 | 202,090 |
| 百万トン | | | | | |
| 全国 | 652.8 | 649.3 | 649.9 | 648.6 | 667.4 |



02

地域における新再生可能エネルギー設備の拡大による温室効果ガス削減

忠清南道唐津市は、新再生可能エネルギーへのシフトを通じて、地域での排出がもっとも多いエネルギー部門における炭素中立を図るため、地域内の一戸建ておよび集合住宅・町内会館・公共施設・福祉施設などに太陽光発電設備(1,800kW)を設置しました。また公共部門でエネルギーをもっとも多く使う環境基礎施設に対する新再生可能エネルギー設備の拡大を通じて、約700トンの温室効果ガス排出量を低減し、炭素中立の達成率を15%以上高められると期待しています。



唐津市古袋・富谷公共下水処理施設への新再生可能エネルギー(太陽光)設備の設置

03

エコカーの拡大普及による内燃機関の漸進的な廃止でグリーンモビリティへシフト

高速道路や主要国道が所在する忠清南道唐津市は、大規模産業団地での貨物運送・物流や自家用車の使用によるモビリティ部門における温室効果ガス排出量を削減するために、韓国内で最も高いエコカー購入補助金を支給し、購入者に金銭的な支援を行っています。その結果、2021年までに約1,600台余りのエコカーを普及させ、グリーンモビリティ社会への移行に励んでいます。

2020年唐津市の一日交通量および年間温室効果ガス予想排出量

| 計 | 乗用車 | バス | 貨物車 | | | 温室効果ガス排出量 | |
|--------|--------|-----|-------|-------|-------|----------------------|-----------------------|
| | | | 小型 | 中型 | 大型 | 1日 | 年間 |
| 56,864 | 41,500 | 650 | 9,604 | 4,163 | 1,347 | 78千トンCO ₂ | 29百万トンCO ₂ |

04

市民主導の気候危機克服で地域から始まる炭素中立社会へのシフト

世界の平均気温の上昇を1.5°Cに抑えるための炭素中立の暮らしの定着を促すため、ドイツに所在するMCCベルリン研究所と提携して1.5°C上昇までの残り時間を表示する気候時計を製作し、多くの市民が行きかう市役所の玄関に設置しました。また、地域の大規模イベントである「キム・テゴン神父誕生200周年記念イベント」を、開催により発生する温室効果ガスの排出量の分だけ企業が自主的に排出を減らすことで相殺する炭素中立イベントとして開催しました。また、「気候変動への適応、猛暑、そして唐津」というテーマでオンラインワークショップを開催し、市民から猛暑克服のアイデアについてヒアリングしました。そのアイデアに基づいて関係部署と協議し、環境部の2022年気候変動脆弱階層支援事業に申請し、都市公園4ヶ所がその対象に選定されました。



唐津市役所の気候時計設置全景



「気候変動への適応、猛暑そして唐津」ワークショップのポスター



炭素中立イベントのための業務協約式

05

国の炭素中立シフト政策に貢献するための の地方政府間の協議体に参加

唐津市は、基礎自治体および広域自治体の炭素中立へシフトする取り組みを通じて国の炭素中立目標を達成すべく立ち上げられた「炭素中立地方政府実践連帯」の忠南圏域基礎地方政府会長都市として、環境ビジネス分野の国際官民連携ネットワークPartnering for Green Growth and the Global Goals 2030 (P4G) の特別セッションで行われた2050炭素中立宣言およびパネルディスカッションに参加しました。また、忠清南道の主導の下、大規模石炭火力発電所が位置する4市・郡(唐津市、保寧市、泰安郡、舒川郡)との相互協力により進めている石炭火力発電所周辺地域の気候変動および住民健康影響研究を通じて、発電所周辺地域の環境や住民への影響情報に関するデータベース(DB)を構築しています。



火力発電所周辺地域の気候変動影響(左)・住民健康影響(右)研究